

🗨️ 展開例

🎯 目的

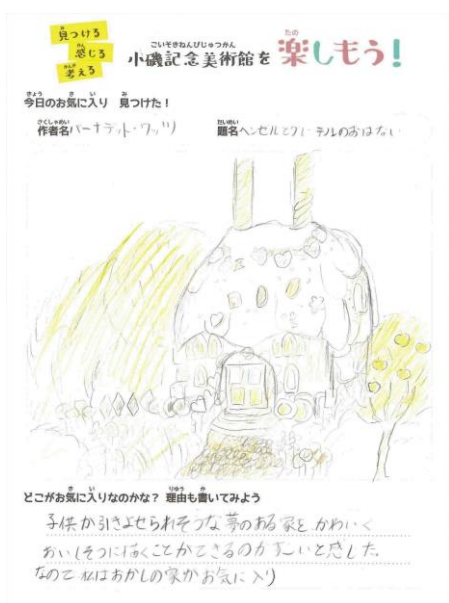
- ・美術館で実物の美術作品, 作品を形作る環境全体に触れ, 生涯に渡る美術教育の礎の一端を得る。
- ・鑑賞活動を通し, 友人たちとの見方の相違や多様な考えに触れ, お互いを認め合う心情を育む。

📅 小磯記念美術館での活動

- ・小磯記念美術館や特別展「絵本の旅」についてのオリエンテーション, 美術館での約束事の確認。
- ・ギャラリートーク(小磯良平《人々》)
- ・作品展の鑑賞, ワークシートを使用し, お気に入りの作品を写生。

📅 美術館後の取り組み

- ・(展示場所の確保ができれば)ワークシートを文化祭で展示する予定。



🗨️ 今回の取り組みについて

本校校区はどの美術館とも距離があり, 気軽に行ける地域ではない。そのためか美術部であっても今までに美術館に行った経験がない生徒が多くいる。また動物園や水族園などと違い, 美術館は気軽に行けないような「敷居の高さ」を感じている生徒も多い。そのためにまず「美術館に行く」体験をすることで, 心理的なハードルを下げること一番の目的としている。そのうえで美術館では, 実物の美術品を間近に目にすることができ, 作品の大きさやテクスチャーなど, 普段目にしている画像や印刷物では感じられない「実物」ならではの迫力を知る機会になった。またギャラリートークや作品の写生を通して, ひとつの作品に時間をかけてじっくり鑑賞したり, 意見をかわしたりすることで, 多様な気づきやものの見方, 価値観に触れる機会を持つことができた。